

地元説明会	地元代表協議会	地元代表協議会委員	分類
		第1次の取り組みの状況を共通理解しておきたい。	1【第1次の取り組みとの関連】
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の質を高めるための「各学級の人数を少なくする」「熟意ある教員を増やす」「教育予算を増やすこと」についてどのように考えているのか。 ・学校を減らすのではなく、予算を増やして充実を図ってほしい。 ・なぜ小規模校ではダメなのか、安全面はどうか等「住民に重たいリスクを負わせる」ことについても十分協議してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとり、よりよい方向をめざして話し合っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校と適正規模校のメリットとデメリットについて、特にメリットの情報が知りたい。 ・適正配置実施方針については賛同する。地域の子どもたちが社会性を身につける場、たくましい心と身体を育成する上で、多くの先生とのかかわり、子どもたち同士が切磋琢磨し体験をしてほしいと思う。ただし、統合の仕方や仕組みについては考えがまとまらない。千葉市の公立保育所を民営化により減らす計画もある。学校と保育所を同じように考えることはできないが、財政難のしわ寄せが子どもたちにも及んでいるのではないかとこの危惧の念を抱いている。 ・磯辺地区内の中学校を1校、小学校を2校にすることは賛成である。早く進めたい。 	2【学校適正配置の必要性】 適正配置の趣旨 適正配置に係る教育環境整備
<ul style="list-style-type: none"> ・適正配置による教育の質の向上は想定なのか、卒業生の調査等にもつづいた事実なのか。 ・なぜこのような枠組みを設定したのか。 ・中学校の適正規模が12学級以上という根拠が納得できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では24学級だと各学年8学級となり、多過ぎないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合の必要性を強く感じる状況でない学校も巻き込まれ、学校が実質上廃校になることが課題である。 ・中学校の適正学級数が12～24となっているが、24学級は1学年あたり8学級となり多すぎないか。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・1学級あたり、どの位の人数なら最適な教育活動が行えるのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・統合前後に職員に煩雑な事務等が増加すると考えられるので、教師以外にマネジメントできる専門家を配置したい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学校名、校歌等は統合準備会で話し合っているのか。 ・リニューアルの具体的な状況はどうか。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・学校が遠くなった場合の安全確保が心配である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・通学距離が長くなる児童の安全確保について、どのように考えているのか教えてほしい。 ・1年生には6歳になったばかりの児童もいるので、大通りを渡らずに通えることが理想である。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティをどう考えるのか。市の考えている方向がわからない。 ・磯辺第三小学区に係る問題を解決しないと先に進まない、行政区との一致が望ましいが、生活に合わせた学区にすることも考えた方がよい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地区計画の一端として大きなプロジェクトとして進めてほしい。しっかりとビジョンを持った予算の使い方を望む。 ・学区（育成関係）と行政区の統一はぜひ行ってほしい。 	3【地域との関連】 街づくり 防災 子どもルーム
<ul style="list-style-type: none"> ・磯辺第三小の児童生徒数の推計は正しいのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・磯辺地区は美浜区の中で高齢化率が1位の状況があり、防災設備から考えると磯辺第四小を地区施設として利用していきたい。 ・児童生徒数の予測が議論の前提となるので、まず予測（推計）の妥当性の検証が必要である。 ・磯辺地区は今後徐々に世代交代して子どもが増えしていくのではないかと、磯辺第三小学区の新築マンションの児童生徒数、二子口跡地の建設計画、一小館の空き地の計画について知りたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校がなくなった場合の社会体育の活動場所の確保はどうか考えているのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・統合により青少年育成委員会が新設となり、組織が固まるまでのケアを地域や個人任せにしてほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合が進むと避難場所が減ってしまうのか。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもルーム開設への影響はあるのか、各学校に子どもルームを設置するという方針はどうか。 ・子どもルームの設置が先延ばしにならないようにしてほしい。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・協議会で「統合の必要なし」という意見でまとまった時の対応についてはいかかか。 ・協議会は2年をめどにしているが、2年を過ぎた時はどうするのか。 ・住民の意見はどのように出してほしいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の代表として出席しているが、すべての自治会の意見を吸い上げることは不可能である。今の段階では、自分の自治会や自分としての考えや意見を述べていくことになる。 ・花鳥小統合の際の手順や手続きに教えてもらおうと参考になる。 ・在学している子どもたちや保護者の不安を取り除きながら協議を進めたい。教育委員会がリーダーシップをとりながら慎重に進めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花鳥小統合の際のメリット、デメリット、工事期間、保護者や住民の反応等について知りたい。 ・不安や問題を様々な角度からあげていく必要がある。 ・地区としてやむを得ないと思ってもらえないよう具体的な丁寧な説明や統合した場合の施策の提案がないと、後々押し付けられたという思いが強く残る。 ・統合の必要性について、地元説明会と委員を通じての説明だけでよいのか。方向性が定まった段階で各小中学校区別に丁寧な説明が必要ではないか。また、説明会は、委員からの要望ではなく教育委員会が主体的に地域の理解を得るために行いたい。 ・地元説明会での意見、各母体から意見を一覧表（管理表）にし、情報を委員が共有して検討を進めたい。 ・統合された場合の学校の青写真（生徒数、教員配置、部活数、備品等）の提示が必要である。 	4【協議の進め方】 協議の進め方 協議のスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の最終ゴールが見えない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高洲・高浜地区と磯辺地区の両学区に関わる所は町内の意見をまとめるのに時間がかかる。概略のスケジュールを知りたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・高浜第二小は過去に学区変更を行った経緯がある、再び学区変更を行うことはいかかか。 ・国の通学距離の基準は過疎地も想定しているのを当てはめるのはあかしくない。半径1.5kmの円を描き狭間となった所の緩和措置をどうするかを考えてはどうか。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・統合のシミュレーションが示されていないが、教育委員会としての案はあるのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の位置は、磯辺第三小と第四小にしていきたい。理由は高浜・高洲地区からも通学しているため。中学校の位置は、第二中の内容が高いと聞いているので二中を希望するが、ためであれば磯辺の中心にある第一中となる。 ・磯辺第一小と第三小との統廃合については第三小を残し（位置的な問題あり）、磯辺第二小と第四小については第四小を残す方向でいかかか。 ・中学校については、磯辺第一中を残す（位置的な問題）。ただし、学校敷地が市の所有が企業庁の所有により変わるのではないかと、磯辺第二小が離れているので第二小と他の3校の中の1校を残すとよいのではないかと。 ・マリーナストリートで一中区と二中区に分け、一中区は一中の斜め前の空き地に新しい小学校を建てる。 ・地区の真ん中にある子どもたちはどこになってもそれほど遠くならないが、端のほうに住んでいるとかなり遠くなる。 ・残す学校を多数決で決めるのはやめてほしい。 ・どちらに新中学校を置いても、地区全体から見ると位置が偏っている。 ・中学校は学区の中心がのぞましい。 ・磯辺地区の中央にある磯辺第四小の場所に新中学校を置いてはどうか。 ・現在小学校として使用している校舎を中学校、中学校として使用している校舎を小学校にすることは可能なのか。 	5【適正配置の方向性】 統合校の位置 学区の設定 統合の手順 中学校の統合
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と中学校のどちらを先に進めていくのか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高浜第二小の場合は中学校の位置が決まないと話が進みにくい。 ・前回白紙となった磯辺第三小と高浜第二小との統合はありえるのか。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校選択による競争原理が働けば、より質の高い教育を受けさせることができるのではないか。 ・統廃合により通学距離が遠くなる場合があるのなら、自由学区制等を取り入れてはどうか。 ・地元説明会等に参加できない人もいるので、何らかの方法で住民の意見を吸い上げてほしい。 ・統廃合にかかる予算について、税負担についてはいかかか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会のホームページへ簡単にアクセスできるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校を1校に統合することにより、公立離れが起こらないかを危惧する。中学受験に子どもたちを追いやるのは公教育としてよい方向とはいえない。よりプラスとなる教育の質の向上を考えたい。 ・統合準備期の子どものケア（特に中学3年生）、統合前後の評価の扱いをどうするのか。 ・部活の統合により、各大会に向けての練習スケジュールに支障が出るのではないかと。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・高浜第二小が磯辺第二中に学区変更になった際の状況について知りたい。 ・統合により合理化された予算などが今後どのように生かされるのか、具体的な提案が必要である。 ・何事においても協議会の流れの中で考えていく対応で不安や不信の声が多い。適正配置への市の強い取り組み姿勢・教育に対する取り組み姿勢が見えるように要望する。 ・高齢者の世帯と、現在幼児や小学生のいる世帯では意見や、適正配置そのものにも興味や関心が大きく異なる。それらをどう取りまとめていくのかを知りたい。 			